



平成23年8月4日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

営業外収益（貸倒引当金戻入額）の計上に関するお知らせ

当社は、平成23年3月期決算において、平成23年3月31日現在にて有しておりました債券償還に係る債権につきまして、会計上保守的に貸倒引当金を計上しておりましたが、主にその債権の回収が大幅に進んだことにより、貸倒引当金の戻入が発生することとなりましたので下記の通りご報告いたします。

記

1. 営業外収益の内容

貸倒引当金戻入額 16億4136万円

2. 営業外収益の計上の主な理由

当社は、平成23年3月31日現在の財務諸表上において、未償還債券に係る未収入金（以下「当該債権」という。）26億4000万円を計上しておりました。当社といたしましては当該債権につきましては全額回収できるものと考えており、平成23年5月13日の決算短信時には貸倒引当金を計上しておりませんでした。会計監査の監査報告書日である平成23年5月24日現在全額回収まで至っていないことを勘案し、会計上保守的に貸倒引当金を計上することといたしました。

貸倒引当金の計上額につきましては、上記に記載の通り会計監査の監査報告書日が平成23年5月24日であったことから同日付の当該債権残高25億4000万円対し、押さえていた担保の保全部分を勘案し18億882万円を計上しておりました。（詳細につきましては平成23年5月27日付「特別損失（貸倒引当金）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。又、最新の債券償還の進捗につきましては、平成23年5月25日付、及び、平成23年5月31日付「債券償還の進捗に関するお知らせ」をご参照ください。）

その後、平成23年5月25日付および平成23年5月31日付「債券償還の進捗に関するお知らせ」に記載しておりますとおり、当該債権につきましては、現金による回収と、担保権の実行を行ったことにより、当該債権の残高が1億886万円まで大幅に圧縮されることとなりましたので、それらを主な理由として貸倒引当金戻入額16億4136万円が発生することとなりました。

3. 今後の見通し

この度の、貸倒引当金戻入の主な原因となった当該債権の残高は本日現在1億886万円となります。

当社といたしましては、当該債権の残高につきましても全額回収できるものと考えており、債券償還の進捗及び、債権回収によって生じる貸倒引当金戻入額の発生につきましては、今後も適宜ご報告して参ります。

4. 業績への影響

本日も報告いたしました貸倒引当金戻入額（16億4136万円）により、平成24年3月期の業績予想を修正する予定ですが、当社が行った(株)ウェッジホールディングスの株式取得（子会社化）と明日香食品(株)及び明日香食品工業(株)の株式取得（持分法適用会社化）を含めた決算の詳細につきましては現在精査中ですので、精査が終わり次第お知らせいたします。

以 上